

各 位

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

2018年 5月度 売上速報

■ 百貨店事業

阪急阪神百貨店	売上高前年比(%)
阪急本店※1	107.7
阪神本店	83.4
支店計	93.2
全社計	99.5
既存店計※2	102.3

※1 阪急うめだ本店 107.3%、阪急メンズ大阪 111.0%

※2 堺 北花田阪急を除く既存店対比

○ 全店の概況

- ・5月の休日1日減の影響に加えて、阪神本店の建て替え工事による、売場閉鎖や移動による面積減、月末3日間の臨時休業による影響が大きく、前年実績を若干下回る結果となった。
- ・阪急本店、阪急メンズ東京、博多阪急などの都心店は、海外ブランドを中心にファッション関連が好調に推移するも、郊外店は食料品が堅調に推移するもファッションの動きが鈍く、苦戦。

○ 阪急本店の概況 ※売上高が18ヶ月連続で前年実績を上回る。

- ・婦人ファッション(112%)は、4月の高気温の影響で高伸した初夏アイテムが、比較的低気温の状況が続き、動きが鈍る。その一方で、国内新客やインバウンドによる海外ブランドを中心としたジュエリーやバッグの動きが良く、コスメも好調に推移。
- ・100万円以上の高額品(123%)は、時計やジュエリーの動きが良く、500万円以上(130%)のジュエリーも動いた。
- ・インバウンド(約6割増)は、化粧品のピーターが増え続けている消耗品(148%)、高額なジュエリーや時計に加え、ファッションアイテムも好調な一般品(167%)とともに高伸。
- ・阪急メンズ大阪は、インバウンドを中心に海外ブランドの動きが良く、アイテムでは、軽衣料、バッグ、SLG、スニーカーが好調。

※過去1年間の売上高推移

前年比(%)

	2017年度												2018年度	
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
阪急本店	108.4	108.3	108.0	110.0	114.4	110.1	112.6	106.5	107.3	108.4	109.6	110.8	107.7	
阪神本店	101.6	96.2	95.7	99.8	106.1	100.2	100.6	100.4	98.5	98.5	99.4	106.8	83.4	
支店計	102.8	104.0	103.4	94.9	97.3	95.3	100.5	98.4	96.1	97.7	100.3	98.5	93.2	
全社計	105.4	105.1	104.7	103.1	107.4	103.6	106.9	103.0	102.1	103.4	105.1	106.0	99.5	
既存店計				105.4	109.4	105.5	108.8	104.9	104.3	105.3	107.0	108.0	102.3	

速報値

■ 食品事業

イズミヤ	売上高前年比(%)	阪急オアシス	売上高前年比(%)
全社計	88.8	全社計	96.4

★数値は速報値のため、確報値とは誤差が生じることがあります。

<本件に関するお問合せ先>
 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 広報室 TEL:06-6367-3181